



百日咳が流行中 早期の診断、治療が重要です！

令和元年 6月19日
富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)
(0766-56-8142 細菌部)
(0766-56-8143 ウイルス部)

感染症発生動向速報

(令和元年 第24週分・6月10日～6月16日)

《 インフォメーション 》

●百日咳

県内において、第21週以降、百日咳患者の報告数が増加しています(右図)。今年の報告数は6月16日時点で72人となり、既に昨年の報告数(23人)を超えています。富山市および砺波管内からの報告数が多い状況ですが、第23週以降、高岡管内からも4人の患者が報告されています。患者を年齢別に見ると、小学生と推定される年代が多く(右表)、学校などで感染が拡大することが懸念されています。

百日咳は、百日咳菌を原因とする急性の呼吸器感染症で、患者の咳やくしゃみなどに含まれる菌を吸い込むことにより感染します。百日咳菌は感染力が強いため、学校などで集団発生がしばしば発生します。

わが国では、2012年から百日咳・ジフテリア・破傷風混合(DPT)ワクチンに不活化ポリオワクチンを加えた四種混合(DPT-IPV)ワクチンが定期接種として導入されています。しかしながら、学童期の患者の多くは、ワクチン接種歴があることがわかっています。そのため、日本小児科学会は、就学前にDPTワクチン(任意接種)を追加接種することを推奨しています(詳細は、学会のホームページをご参照ください)。

感染拡大防止のためには、早期の診断、治療が必要です。咳が続く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。また、咳が続く人はマスクを着用することで感染拡大を防止することが大切です。

《 全数報告の感染症 》

二類感染症 結核 3件 (①80歳代、男性 ②80歳代、女性 ③90歳代、女性)

五類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2件 (①第22週診断分：90歳代、女性、G群
②70歳代、男性、A群)

梅毒 1件 (60歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅱ期)

百日咳 21件 (①第23週診断分：10歳未満、男性

②～⑦全て10歳未満、男性 ⑧～⑭全て10歳未満、女性

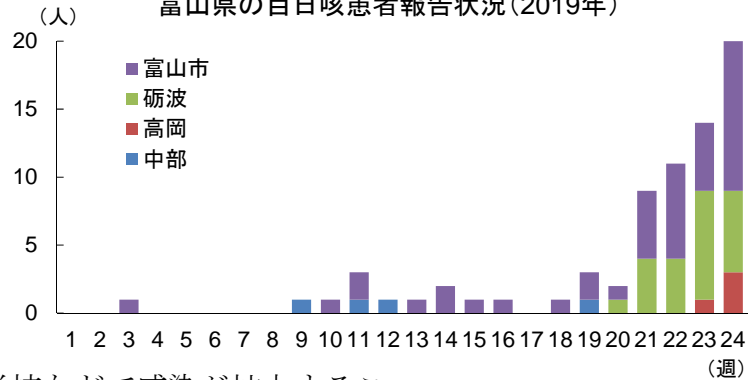
⑮～⑱全て10歳代、男性 ⑲～⑳全て10歳代、女性)

《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	7.76(↓)	10.03
2位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.24(↓)	2.34
3位	伝染性紅斑	1.59(↓)	1.93
4位	咽頭結膜熱	1.21(↑)	1.17
5位	水痘	0.55(↑)	0.28
	突発性発しん	0.55(→)	0.55

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

富山県の百日咳患者報告状況(2019年)



年代	報告数
0-4歳	1人
5-9歳	45人
10-14歳	21人
15-19歳	1人
20歳代	1人
30歳代	1人
40歳代	1人
50歳代	1人
合計	72人

○感染症発生動向調査報告状況（令和元年第24週 令和元年6月10日～令和元年6月16日）

分類	疾患	今週報告分（第24週）						累積報告数					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核			1	1	1	3	8	4	21	21	5	79
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症								1	4		5	10
四類感染症	E型肝炎							2					2
	A型肝炎							1					1
	レジオネラ症									6	5	9	20
五類感染症	アメーバ赤痢											1	1
	ウイルス性肝炎									1			1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症									2	1		3
	急性脳炎											2	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					1	1			2	2	3	7
	後天性免疫不全症候群											3	3
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									1	2		3
	侵襲性肺炎球菌感染症									8	8	8	24
	水痘（入院例）							1				4	5
	梅毒					1	1			2	1	10	13
	播種性クリプトコックス症											1	1
	百日咳			3	6	11	20		4	4	23	41	72
	風しん								1			2	3
	麻しん									1	2		3
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ	1				12	13	1,426	912	3,119	1,691	3,662	10,810
		0.14				0.75	0.27						
	RSウイルス感染症		2			1	3	11	21	53	11	75	171
			0.67			0.10	0.10						
	咽頭結膜熱	7	1	10	6	11	35	107	17	200	38	136	498
		1.75	0.33	1.25	1.50	1.10	1.21						
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	3	22	9	27	65	89	95	450	197	791	1,622
		1.00	1.00	2.75	2.25	2.70	2.24						
	感染性胃腸炎	38	29	32	14	112	225	756	585	935	400	2,349	5,025
		9.50	9.67	4.00	3.50	11.20	7.76						
	水痘		1	3		12	16	15	13	35	11	202	276
			0.33	0.38		1.20	0.55						
	手足口病			2	3	4	9	17	11	18	6	86	138
				0.25	0.75	0.40	0.31						
	伝染性紅斑	3	1	10	2	30	46	78	24	336	79	273	790
		0.75	0.33	1.25	0.50	3.00	1.59						
	突発性発しん			10		6	16	20	24	100	23	95	262
				1.25		0.60	0.55						
	ヘルパンギーナ	3				1	4	65	4	5	2	1	77
		0.75				0.10	0.14						
流行性耳下腺炎		1	1			2	1	5	7	1	16	30	
		0.33	0.13			0.07							
急性出血性結膜炎				1		1					12	12	
				1.00		0.14							
流行性角結膜炎		1	1	1		3	1	8	24	22	4	59	
		1.00	0.50	1.00		0.43							
細菌性髄膜炎											3	3	
無菌性髄膜炎	1					1	2					2	
	1.00					0.20							
マイコプラズマ肺炎								2	2			4	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）							1		8	7	2	18	
インフルエンザによる入院患者（*）					1	1	41	42	52	98	99	332	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成30年第36週(9月3日)～の集計です。

○感染症発生動向調査報告状況（令和元年5月分）

		5月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
五類感染症 (定点把握)	性器クラミジア感染症			4		7	11	2	1	7		36	46
				1.33		1.75	1.10						
月報対象疾患 (下段は定点当たりの患者数を示す)	性器ヘルペスウイルス感染症		1		1	3	5		3	7	4	15	29
			1.00		1.00	0.75	0.50						
	尖圭コンジローマ				1	2	3			4	1	9	14
					1.00	0.50	0.30						
	淋菌感染症	2				1	3	4		2		10	16
		2.00				0.25	0.30						
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2		2	1	1	6	4	8	11	9	24	56
		2.00		2.00	1.00	1.00	1.20						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1		1			2	2		10	5	3	20
		1.00		1.00			0.40						

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。